

# 確実な消毒効果を得るために (平成20年、1月改)

消毒は伝染病対策で極めて重要です。そのため、消毒薬の使用に際しては、消毒薬の特徴を十分に考慮して適正に使用する必要があります。通常の下況下ですぐ使用する場合は、説明書のとりの希釈倍率で十分消毒効果が得られますが、家畜糞の混入や冬季のような低温下では効果が得られない消毒薬もあります。また、消毒薬によっては金属を錆びさせたり、ゴムを劣化させたり、効力が時間とともに低下してしまうものもあります。

以下に各種消毒薬の効果に及ぼす影響等について当所の試験成績を要約しましたので参考にしてください。

消毒薬	成分名	菌種による相性比較					混入糞種による相性比較			低温(1 未満)での効果		金属(鉄)腐食度(10段階)	ゴム劣化度(5段階)	薬液調整3日後の効力
		ブドウ球菌	サルモネラ	大腸菌	連鎖球菌	パストレラ	牛糞		鶏糞	低温	牛糞+低温			
(指標病原菌)		S.A	S.T	E..C	S.D	P.M	S.A	S.T	S.T	S.T				
逆性石鹼	塩化ジテシルジメチルアンモニウム						×			×	×	5	2	不変
	塩化トリメチルアンモニウムメチレン-アルキルトルエン						×		×	×	×	2	3	不変
両性石鹼	ポリアルキルホリアミノエチルグリシン塩酸塩、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル						×	×	×	×	×	4	2	低下
ヨード剤	ノキシノール・ヨード							×	×			4	1	低下
ゾール剤	オクトジクロロベンゼン、クレゾール									×	×	2	2	不変
複合剤	ペルオキシ硫酸水素ナトリウム、塩化ナトリウム						×		×		×	6	3	不変
塩素剤	ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム											7	5	不変
	次亜塩素酸ナトリウム							×	×		×	8	4	低下
消石灰	水酸化カルシウム											1	5	不変
アルデヒド系	グルタルアルデヒド、炭酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム									×	×	6	1	不変
表の見方		: 常用範囲で即効性 : 常用範囲可だが、やや高濃度又は時間を要す : 常用範囲で効果なし					: 常用範囲で効果あり : 影響あるものの常用範囲で効果あり : 常用範囲高濃度又は時間を要す ×: 常用範囲で効果なし					水道水5 (弱)1 10(強)	水道水1 (弱)1 5(強)	うち日光8時間感作

(注) 本試験結果は、特定の病原菌と特定の家畜糞を用いた成績なので、あくまで傾向として捉えて下さい。